

人権推進員研修

各課に1名配置する、人権推進員を対象とする研修

年度	内容	参加人数
29	<ul style="list-style-type: none"> ・現地研修(フィールドワーク・講義) 開催日:平成30年3月1日 テーマ:「ヘイトスピーチ解消法、多文化共生社会を理解する」 場 所:鶴橋駅周辺、生野コリアタウン 講 師:文 公輝 氏(NPO法人多民族共生人権教育センター理事) 	21
30	<ul style="list-style-type: none"> ・現地研修(フィールドワーク・講義) 開催日:平成31年3月15日 テーマ:「部落差別問題と人権のまちづくりを学ぶ」 場 所:向野地区 講 師:塩谷 幸子 氏(向野地域産業と歴史研究会) 	26
元	<ul style="list-style-type: none"> ・講演とワークショップ「LGBTについて」 開催日:令和2年1月(予定) 	

藤井寺市人権のまちづくり協会会員研修

協会会員を対象とする研修

年度	内容	参加人数
29	<ul style="list-style-type: none"> ・現地研修(フィールドワーク・講義) 開催日:平成30年3月27日 テーマ:「盲導犬の役割から共生社会の実現について学ぶ」 場 所:日本ライトハウス 盲導犬訓練所(千早赤坂村) 職員による講義及び館内見学案内 	26
30	<ul style="list-style-type: none"> ・現地研修(フィールドワーク・講義) 開催日:平成31年3月27日 テーマ:「歴史や文化の発展に寄与してきた被差別民衆の生活史について学ぶ」 場 所:龍安寺・ツラッティ千本 ボランティアガイドによる講義及び館内見学案内など 	25
元	<ul style="list-style-type: none"> ・現地研修(フィールドワーク・講義) 開催日:令和2年3月(予定) テーマ:「部落差別をはじめ人権問題の解決に向けた市民交流事業について理解を深める」 場 所:堺市立人権ふれあいセンター(交流ホール・相談ホール)・舩松人権歴史館 ボランティアガイドによる講義及び館内見学案内など 	

職員人権研修

全職員を対象とする人権研修(嘱託職員、臨時職員を含む)

年度	内容	参加人数
29	<p>開催日:平成30年2月13日・14日・16日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演とグループ討議「部落差別問題を理解する」 講師:岡本 工介 氏(大阪人間科学大学非常勤講師) ・講演とグループ討議「民族差別問題を理解する」 講師:文 公輝 氏(NPO法人多民族共生人権教育センター理事) ・映像研修 障害者の人権を理解する 「生命(いのち)のことづけ」～死亡率2倍障害のある人たちの3.11～ 「風の匂い」 	499
30	<p>開催日:平成31年2月12日・13日・15日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像研修 職場の人権、障害者の人権 「多様性を尊重した職場のコミュニケーションと人権」 「障がいを超えて」 ・講演とグループ討議「ダイバーシティ時代に求められる人権感覚を理解する」 講師:芝本 正明 氏(大阪企業人権協議会サポートセンター) ・講演とワークショップ「部落差別問題を理解する」 講師:土田 光子 氏(大阪教育大学非常勤講師) 	523
元	<p>開催日:令和元年10月30日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演「障害者差別解消法について～合理的配慮って何をすればいいの～」 講師:近藤 厚志 氏(弁護士) <p>※市民も対象とした研修</p> <p>開催日:令和2年2月(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像研修「ハラスメント防止について」または「障害者理解について」 ・講演とワークショップ①「インターネットと人権について」または「部落差別問題について」 ・講演とワークショップ②「障害者理解について」または「ハラスメント防止について」 	

男女共同参画フォーラム

男女共同参画週間啓発事業

年度	内容	参加人数
29	<p>テーマ:自分らしく生きる～性別違和を乗り越えて～ 『彼らが本気で編むときは』上映会 開催日:平成29年10月31日 講師:清水 展人 氏(日本LGBT協会)</p> <p>概要:育児放棄された少女と叔父とその恋人(トランスジェンダー)の共同生活を通して新しい家族の形を描いた映画の上映と、トランスジェンダー当事者である講師自身の思いや体験談を通じて性的マイノリティへの理解を深める講演</p>	130
30	<p>テーマ:誰もが自分らしく、生きられる社会に向けて ～女が得か、男が得か、なぜ誰もが生きづらい社会なのか～ 開催日:平成30年6月29日 講師:谷口 真由美 氏(大阪国際大学准教授)</p> <p>概要:社会に根強く存在しているジェンダー意識や性別役割分担意識により、男女を問わず多くの方が生きづらさを感じる社会となっている背景から課題を明らかにし、なぜ男女共同参画が必要とされているかについての理解を深める講演会</p>	140
元	<p>テーマ:名もなき家事を考える 『妻よ薔薇のように 家族はつらいよⅢ』上映会 開催日:令和元年6月28日 講師:斧出 節子 氏(京都華頂大学現代家政学部教授)</p> <p>概要:女性の社会進出、男性の家庭参画は少しずつ進んでいるが、家事労働に対する社会的評価は低く、対価もないことから、「名もなき家事」を題材として学ぶとともに、家事労働の価値に対する認識を深める講演会</p>	130

ふじいでらひゅーまんメッセ

人権週間啓発事業

年度	内容	参加人数
29	<p>テーマ:「駅で落ちない落語」～駅のホーム転落事故を防ぐために私たちができること～ 講師:桂 福点 氏(落語家) 開催日:平成29年12月15日</p> <p>概要:講演者ご自身が視覚障害者として、社会に対して感じた思いや、障害を持つ人、持たない人がどのようにして共に支えあっていくのかに関する講演の後、ホーム転落事故により、同じ障害を持つ友人を亡くしたことをきっかけに、事故の再発防止を訴えるために創作された落語の上演</p>	130
30	<p>テーマ:皮や三味線のルーツに関する講演会&津軽三味線コンサート 講師:太田 恭治 氏(元大阪人権博物館学芸員) 開催日:平成30年12月4日</p> <p>概要:室町時代に琉球から日本にもたらされた三味線を通じて、当時、その作り手や演奏する人が被差別民であったことなど、いわれのない差別や人権問題についての講演会と、「来世楽」による津軽三味線コンサートの上演</p>	230
元	<p>テーマ:映画「あん」上映会とハンセン病回復者の講演会 講師:加藤めぐみ 氏(ハンセン病回復者支援センター) ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会会員 開催日:令和元年12月6日(予定)</p> <p>概要:ハンセン病回復者とその周辺の人々との交流を通じて、生れてきた意味や生きていく意味を考える映画上映とともに、ハンセン病回復者に対する認識を深める講演会の実施</p>	

ピースメッセージ平和展

戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に伝える事業

年度	内容	参加人数
29	<p>テーマ: 広島・長崎・沖縄へ思いを寄せて 開催日: 平成29年8月4日・5日 映画: 『おこりじぞう』『はとよひろしまの空を』『夏服の少女たち』『アンゼラスの鐘』『母と暮せば』 展示: 広島・長崎の原爆被害の実相や現在の核兵器の状況などについてのポスター展 現物資料の展示(広島平和記念資料館・立命館大学国際平和ミュージアム所蔵) 朗読コンサート: 「ひめゆりの塔～祈りと希望の歌～」</p>	390
30	<p>テーマ: 戦争に奪われる日常 開催日: 平成30年8月3日・4日 映画: 『この世界の片隅に』 展示: 戦時下の暮らしと堺大空襲パネル展(堺市立平和と人権資料館) 戦時下の暮らしに関する物品展示(立命館大学国際平和ミュージアム所蔵) 朗読コンサート: 「夏服の少女たち」</p>	370
元	<p>テーマ: 新しい時代を迎えた今 後世に残す 薄れゆく戦争の記憶といのちの大切さ 開催日: 令和元年8月2日・3日 映画: 『夕凧の街 桜の国』『クロがいた夏』 展示: 原子爆弾―広島と長崎の記録―(堺市立平和と人権資料館) 戦時下の暮らしに関する物品展示(立命館大学国際平和ミュージアム所蔵) 平和の歌声コンサート・命の大切さを伝える人形劇</p>	330